
東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部



事務局 〒104-0051 東京都中央区佃 2 丁目 22 番 6-C309

吉瀬社会保険労務士事務所内 ☎ 03 (3532) 7908 発行人 吉瀬君江

URL = <http://www.sr-ccs.com>



世界遺産 白川郷 (岐阜県)

戸室 康廣 会員撮影

- 新・旧支部長のご挨拶
- 4 月からの新体制をお知らせします
- 新春賀詞交歓会を盛大に開催！
- 勤務等会員による事例紹介
- 厚生労働省委託「中小企業労働契約支援事業」の報告
- 政連だより
- あとがき【拡大版】 ほか

新・旧 支部長のご挨拶

新支部に向けて

千代田・中央支部としては、最後の支部長になりました。2年間、役員、委員、会員の皆様には、大変なご協力とご支援をいただき感謝申し上げます。

支部再編により千代田支部、中央支部に分かれてのスタートラインに立ったわけですが、今までの千代田・中央支部で培ったものがなくなることは無く、仲間としてお互いに協力し、今まで以上の関係ができることを願っています。

私、支部長在任中に社会保険労務士となって25年が経ちました。右も左もわからずに飛び込んだ世界で、千代田・中央支部が素晴らしい支部であることは、入ってから知りました。たくさんの先輩方に恵まれて、公私にわたり指導をいただき、ここまで続けてまいりました。そして数人の方とのお別れもございました。女性の先輩として子育ての相談にのるよとってくださった森先生、同じ居住区の小口先生、組織活動のイロハを教えてくれた長森先生とのお別れはとくに心に残っています。

今後は、千代田・中央支部の先輩方から得た教訓を新支部で守り、成長させて両支部がともに発展することを期待いたします。



千代田・中央支部長
吉瀬 君江

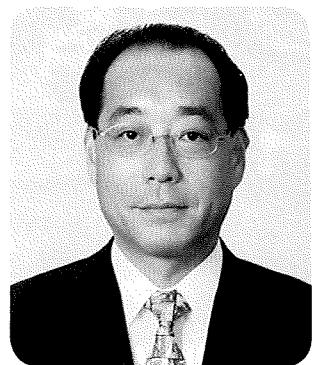
共に啓発しあえる関係作りを

この度、新たに誕生する千代田支部の支部長に選任されました半沢公一です。千代田支部は、支部再編により従来の千代田・中央支部から分割されますが、それでも1,100名の会員を抱える大所帯であることに変わりはありません。その支部長を務めることの責任の重さを痛感している次第です。

千代田支部の運営については、今までの千代田・中央支部と比較すれば予算規模が縮小するため、効率的に資金を使い、今まで以上に充実した支部行事や研修を実施するように努めます。

先輩会員の知恵をお借りして、また、若手会員からは、固定観念に囚われない視点や新鮮な考え方、情熱を感じながら、会員の皆さんが参加したくなるような支部行事を企画していきます。その中で、開業、勤務等を問わず、仲間を作り、相談し合い、お互いに啓発しあえる関係を作ることができれば素敵なことだと思います。会員の皆さんが社会保険労務士の友人を作れるように、新たな支部行事(研修・懇親イベント等)も検討しています。ご期待下さい。

支部の役員、そして多くの会員の皆様のご協力をいただき、これから2年間、着実に運営していきたいと存じます。何卒、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



千代田支部長
半沢 公一

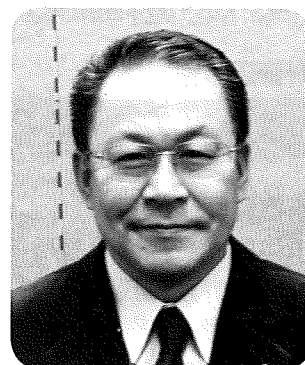
中央支部・新支部長としての抱負

いよいよ4月から新生「中央支部」のスタートです。東京会支部再編に伴い、これまで馴れ親しんだ千代田・中央支部から分割し、単独で支部活動・運営を行うことになるのです。

中央支部の会員数は、総勢約700名（開業・法人社員約200名、勤務等約500名）となります。これまでの千代田・中央支部の規模（約1,800名）と比べて縮小されましたが、そのメリットは従来よりも会員の声をより反映させた支部運営が可能となることであり、一人ひとりが力を出し合えば、さらに活発で楽しい支部活動が期待できることです。

私は、いつも「できる・できる、何でもできる。今やらずして、いつできる。」という言葉を経験にしています。これは京都のとあるお坊さんの言葉だそうですが、「何事もできると思わなければ達成できないし、できると思ったときにすぐに行動を起こさなければいつまで経っても願いは叶わない」と私なりに解しています。つまり、この①ポジティブな思考と、②スピーディーな行動を会員の皆様に約し、支部運営のリーダーシップを執っていきたいと思っています。

時代の流れを的確に掴み、社会保険労務士の夢とビジョンが実現できる組織（支部）を築いていくためには、会員の皆様の支部活動への積極的な参加が不可欠です。ご支援とご協力を切にお願い申し上げます。



中央支部長
寺田 晃

4月からの新体制をお知らせします

千代田支部

千代田 支部長	半沢 公一
【副支部長】	
開業部会長	大畑 雅弘
勤務等部会長	浅香 博胡
中央労働基準監督署担当	椎野 登貴子
飯田橋公共職業安定所担当	味園 公一
千代田社会保険事務所担当	小松 紀子
千代田区役所担当	高根 祐司
政治連盟担当	恩田 和明
	浅岡 純朗
	永井 常男
【委員長】	
総務委員長	味園 公一
研修委員長	酒井 裕樹
広報委員長	青山 弥生
厚生委員長	高根 祐司
IT委員長	森 俊介
【監査】	
加藤 恒男	藤田 脩
【顧問】	
新堀 英行	仲野 三郎
金網 久夫	相馬 誠一
古川 泰一郎	柏木 弘文
	石原 健三

中央支部

中央 支部長	寺田 晃
【副支部長】	
開業部会長・総務・研修担当	本間 邦弘
勤務等部会長・総務・厚生担当	田中 幸夫
中央労働基準監督署担当	本間 邦弘
飯田橋公共職業安定所・厚生担当	勝本 京子
中央社会保険事務所担当	玉田 壤三
研修・広報担当	関根 康
政治連盟担当	玉田 壤三
【委員長】	
総務委員長	石上 均
研修委員長	藤原 伸吾
広報委員長	勝本 京子
厚生委員長	府川 芳枝
【監査】	
辻元 均	中村 孝男
【顧問】	
小山 昇	山本 弘之
渡邊 和洋	大槻 哲也
	吉瀬 君江

新春賀詞交歓会を盛大に開催！

平成21年1月15日(木)に、お茶の水「ホテル聚楽」において、新春研修会および賀詞交歓会が開催されました。

●新春研修会

東京経営者協会顧問(前専務理事)の大久保力氏をお招きし、「今後の企業経営と人事労務の重要性」をテーマにご講演いただきました。

●新春賀詞交歓会

千代田社会保険事務所所長の田中保氏、中央社会保険事務所所長の菅重博氏、中央労働基準監督署労災次長の越野達郎氏、飯田橋公共職業安定所管理部長の齋藤俊氏、東京都労働相談情報センター相談事業課長の岩崎俊英氏、千代田区長の石川雅己氏、東京都議会議員の内田茂氏、東京商工会議所千代田支部事務局長の板倉昭司氏、同中央支部事務局長の安寫潔氏をはじめとして多数のご来賓にお越しいただき、100名以上が参加して和やかな時間を過ごしました。



▲ 講師の大久保先生



▲ 来賓のみなさまのご挨拶をお聴きしています



▲ 女性会員も増えました



▲ 東京会副会長の柏木先生と一緒に



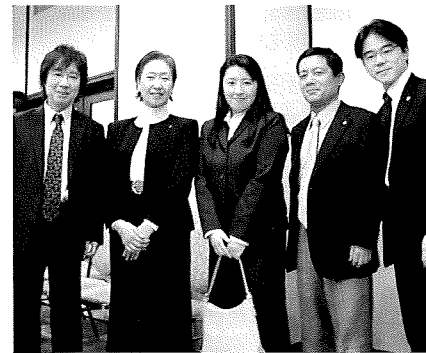
▲ 受付で活躍の総務委員を中心に



▲ 若手会員も増えました



▲ 厚生委員・研修委員のみなさん、準備お疲れさまでした



撮影：広報委員 戸室康廣

勤務等会員による事例紹介

平成20年10月30日(木)、薬業健保会館において『定年後の再雇用制度と活用事例』をテーマに、富士フィルムファインケミカルズ(株)の岩井存史氏、全国共済農業協同組合連合会の大塚義巳氏の勤務等会員2名に講師となっただき、勤務等部会・開業部会合同研修会を開催しました。

富士フィルムファインケミカルズ(株)

平成10年3月より定年再雇用制度を本格実施し、この10年間で約40名が一年以上の契約期間で再雇用されております。労使協定で「再雇用基準」は定めておりますが、過去の再雇用実績をみますと、定年ですぐ退職する者は少なく、その経験を生かし定年後も再雇用されている者が多い傾向があります。再雇用者の担当業務は、経験を重視し現職継続を基本としています。

勤務形態は、①フルタイム型(正社員と同一)②週3日型(雇用保険加入、健康保険・厚生年金保険脱退)③研究・総務等のコンサルタント契約(健康保険・厚生年金保険・雇用保険脱退)の3つの形態があり、処遇面については55歳時の役職により決定し、年俸制(280～300万円)が基本となっています。

《感想》.....

勤務形態(フルタイムまたは週3日)が選択可能な制度であるのは、高年齢である再雇用者にとって再雇用を選択し易くなるのではないかと思います。再雇用が決定した後、社会保険事務所と厚生年金基金へ年金相談を行う際には、会社がフォローするそうです。

また、年金併給型賃金プランを作成し本人へ提示する、年金裁定請求書の作成フォローを行うなど、再雇用される社員にとって、とてもわかりやすい説明・フォローを行っていることに感心しました。

全国共済農業協同組合連合会

定年前の制度として、(1)役職定年制度、(2)早期退職優遇制度、(3)進路選択制度があります。

(1)は、役職(課長・次長・部長)に応じて役職定年制度(50歳・53歳・55歳)を導入しています(理由は後進にポストを譲ることで組織の活性化、モチベーションの向上を図るため)。

(2)は、53歳・56歳のときに退職金の加算を受け、早期に退職する常設の制度です。

(3)は、再雇用の意思確認で57歳のときに意思確認を行います(再雇用制度導入2年目)。再雇用基準は、労働組合との労使協定により定めております。基準の内容は、①一定以上の職能資格の者、②57歳以降欠勤のない者、③57歳以上の人事考課がB以上の者、④フルタイム勤務に耐えうる健康を維持できる者、⑤通勤可能圏に居住する者、⑥労働条件に合意した者、と定められており、再雇用契約更新時の条件は、①人事考課がB以上だった者、②欠勤がなかった者としております。

勤務形態ですが、短時間勤務はなくフルタイムのみで、給与水準は退職時の約45%水準です。給付金・年金(適格退職年金を含む)を合算したベースにすると、退職時の約75%になります。また、賞与は年俸を14か月で割り、2か月分を夏季と年末に支給、退職功労金として人事考課に応じてポイントを付与し、お話を伺って雇い止め時に、累計ポイント分を支給しています。

《感想》.....

再雇用制度の利用率は定年退職者の3割程度で、再雇用を希望しない方の理由としては、事業を始める、退職金が支給されるので金銭的に余裕がある、フルタイムの勤務形態しかない、という理由が多いそうです。

今回、情報交流会に参加された会員に対して高年齢者雇用の実態に関するアンケートを行いました。その中で退職金を支給しているという回答は他にありませんでしたので、再雇用者にとって、金銭面でとても優遇された制度であると感じました。

勤務等部会主催 情報交流会

部会合同研修会終了後、勤務等部会主催による情報交流会を、開業会員にも参加を願い開催しました。38名が参加され、盛況な会となりました。

研修会テーマに関連する高年齢者雇用の実態に関するアンケートを事前に参加者の方からいただき、その集計結果を当日配布しました。私は今回初めて情報交流会に参加させていただきましたが、多くの方とお話ができて、他社の人事部門の方や社会保険労務士事務所に勤務されている会員の方との情報交流で貴重なお話を伺え、大変有意義な時間を過ごすことができました。

神田地区勤務等会員 伊藤 千紗

厚生労働省委託事業 「中小企業労働契約支援事業」の結果報告

厚生労働省の委託事業として、全国の社会保険労務士会が、支部ごとに中小企業を対象とした労働契約に関するセミナー&個別相談会を開催することとなりました。私たち千代田・中央支部では、東京商工会議所 千代田支部および中央支部との共催により、「ご存知ですか?『労働契約のルール』」と題して、セミナー&個別相談会を開催し、好評のうちに終了することができました。ご協力いただきました支部会員であるサポーターの皆様に、心より感謝申し上げます。

実施期間 平成20年11月12日～平成21年1月29日(全6回)

申込者数 265名(平均44名)、**参加者数** 198名(平均33名)

労働契約支援アドバイザー(講師&相談員) (敬称略)

朝比奈 睦明、今泉 浩史、寺田 晃、半沢 公一、府川 洋輔、本間 邦弘

サポーター(相談員) (敬称略)

青山 弥生、石上 均、石澤 清貴、石山 和子、伊東 文子、岩崎 仁弥、太田 雅美、大野 剛一郎、大森 直子、岡崎 和光、菊地 正範、児山 昇正、佐々木 説子、設楽 昌明、嶋倉 貞男、田中 美津子、田辺 初枝、土谷 宣人、徳村 万貫夫、中尾 美香、中島 崇雄、中西 恵津子、長谷川 隆夫、深田 康弘、藤井 しのぶ、細川 宏美、本澤 賢一、牧山 信彦、増田 幸三、益田 淳子、松本 千賀子、丸山 新樹、向井尚人、安田順子 34名



労働契約支援事業を実施して

チーム1リーダー 半沢 公一

今回の事業は、平成21年1月末までに、千代田・中央支部において6回の説明会と個別相談会を開催するという内容でした。参加者は、事業主および企業の人事労務担当者であったため、企画担当者の私が真っ先に考えたことは、日頃から親密な協力関係にありました東京商工会議所の千代田支部と中央支部の両支部にご協力いただけないだろうか、ということでした。

幸いにも、両支部共に本事業の趣旨についてご理解いただき、共催形式で開催することが決定しました。開催会場の手配と参加者の募集は両支部にお願いし、当支部は、講師と配付資料の用意、そして個別相談会に対応するための相談員(支部会員サポーター)のアサインを担当しました。

昨年11月12日の開催を皮切りに、本年1月29日まで合計6回の説明会と個別相談会を実施しましたが、最近の雇用情勢の急激な悪化の影響もあり、当初の予想をはるかに上回る参加者と個別相談件数となり、正直なところ驚いています。

チーム2リーダー 朝比奈 睦明

私は、このたび「労働契約支援アドバイザー」として、セミナー講師および個別相談に応じるアドバイザーの役割を担当させていただきました。3回実施したセミナーでは、私たちのグループ3名の労働契約支援アドバイザーがそれぞれ1回ずつ講師役を担当し、毎回30名以上が参加する中、その事例解説的な講義は、セミナー実施後の参加者アンケートなどからも大変に好評だったと感じました。

また、セミナー終了後の個別相談会においては、毎回10名以上の相談を一度に受けることができる体制を整えていたにもかかわらず、相談者に待ち時間が生じてしまうことがありました。それもこれも昨年秋頃からの急速な景気不安、雇用不安が社会的背景にあると思いますが、実際の個別相談の内容は労働契約における基本的な事項の確認が多かったのも事実であり、社会保険労務士は身近な労働契約アドバイザーとして、さらなる活躍が求められる社会的使命を感じました。

政連だより

東京都社会保険労務士政治連盟

千代田・中央支部

支部会長 玉田 壊三

平成 21 年度は、東京会の組織再編に伴い政治連盟も新組織になることから、「政治連盟だより」も最終回となりました。折しも、昨年来のサブプライムローンから始まる米国発の金融危機の影響が日本経済にも波及し、急激な円高により自動車、電子電機関係等日本を代表する大企業が赤字転落に追い込まれ、期間契約・派遣等非正規労働者が職場から追われるという厳しい状況が出現しました。大企業が企業を守るための方策としてのこの現実、私達の顧客である中小企業にも及んできて解雇、雇止め等の相談が多発しております。

労務管理の専門職として社会保険労務士の果す役割

と真価が問われる時が参りました。年金記録問題を契機として、知名度向上を果たした私達社会保険労務士ですが、名実共に社会貢献するためには、第 8 次法改正を推進しなければなりません。即ち、裁判外紛争解決手続代理業務の制限の撤廃、簡易裁判所における労働紛争に関し訴訟代理権を獲得することが必要です。このための各政党、国政機関への働きかけ、いわゆる政治活動は政治資金規制法により東京会では行うことができず、政治連盟がそれを担っていることをご理解いただき、一人の洩れもなく政治連盟に参加されるよう要望して結びといたします。

新入会員を紹介します

入会年月日	氏 名	地 区	形 態
H20.10. 1	蓮見 和章	麹 町	法 人
H20.10. 1	斎藤 國豪	神 田	開 業
H20.10. 1	田村隆一郎	神 田	開 業
H20.10. 1	山本 保	日本橋	開 業
H20.10. 1	荒井 利康	京 橋	開 業
H20.10. 1	板村 亜紀	神 田	勤 務
H20.10. 1	荒田 歩	日本橋	勤 務
H20.10. 1	山田 秀子	京 橋	勤 務
H20.10. 1	難波かほる	京 橋	勤 務
H20.10. 1	中西 稔	京 橋	勤 務
H20.10. 1	江川 明詔	神 田	勤 務
H20.10. 1	芳賀 琢磨	日本橋	勤 務
H20.10. 1	片野 則之	神 田	勤 務
H20.10. 1	藤江 保	京 橋	勤 務
H20.10. 1	伊藤 正和	京 橋	勤 務
H20.10. 1	栗田 理砂	神 田	勤 務
H20.10. 1	中村 清子	麹 町	勤 務
H20.10. 1	花形 仁	麹 町	勤 務
H20.10. 1	摩尼千香子	日本橋	勤 務
H20.10. 1	菊池 匡	麹 町	勤 務
H20.10. 1	関水 裕子	神 田	勤 務
H20.10. 1	小野寺亜紀	神 田	勤 務
H20.10. 1	高沼 正三	麹 町	勤 務
H20.10. 1	夏目 勲嗣	麹 町	勤 務
H20.10. 1	森 慎一	京 橋	勤 務
H20.10. 1	伊藤 千紗	神 田	勤 務

入会年月日	氏 名	地 区	形 態
H20.10. 1	福島 達彦	麹 町	勤 務
H20.10. 1	山野 雄二	京 橋	勤 務
H20.10. 1	山本 奈央	麹 町	勤 務
H20.10. 1	小堀 郁江	麹 町	勤 務
H20.10. 7	東郷 和昭	京 橋	勤 務
H20.10.10	西澤 俊子	麹 町	勤 務
H20.10.10	上田 俊一	神 田	勤 務
H20.10.15	藤沼 香	日本橋	勤 務
H20.10.31	木戸 恵美	日本橋	開 業
H20.10.31	高倉 敏憲	麹 町	開 業
H20.10.31	尾形 清彦	神 田	勤 務
H20.11. 1	西田 研志	麹 町	開 業
H20.11. 1	森藤健一郎	麹 町	開 業
H20.11. 1	中島 悟	神 田	開 業
H20.11. 1	古郡 信司	日本橋	開 業
H20.11. 1	溝口 香	京 橋	勤 務
H20.11. 1	菊池美絵子	麹 町	勤 務
H20.11. 1	青木 淳子	麹 町	勤 務
H20.11. 1	五嶋昭二郎	京 橋	勤 務
H20.11. 1	高堂 詩子	京 橋	勤 務
H20.11. 1	澤村 昭夫	麹 町	勤 務
H20.11. 1	今西 昭一	日本橋	勤 務
H20.11. 1	戸澤 摂子	京 橋	勤 務
H20.11.18	佐野 誠	麹 町	勤 務
H20.11.25	小林 範男	日本橋	開 業
H20.11.30	江口 守夫	神 田	開 業

入会年月日	氏 名	地 区	形 態
H20.11.30	田治米洋平	麹 町	開 業
H20.12. 1	奥本 幸二	神 田	勤 務
H20.12. 1	栗原 明子	京 橋	勤 務
H20.12. 1	水間由美子	麹 町	勤 務
H20.12. 1	中山 博氏	日本橋	勤 務
H20.12. 1	松永 時雄	京 橋	勤 務
H20.12. 1	原田 靖之	神 田	勤 務
H20.12. 1	石山 明弘	京 橋	勤 務
H20.12. 1	岡田 敦子	京 橋	勤 務
H20.12. 1	若生 純一	神 田	勤 務
H20.12. 1	辻 かおる	京 橋	勤 務
H20.12. 1	篠生奈美恵	麹 町	勤 務
H20.12. 1	高道 知一	京 橋	勤 務
H20.12. 1	佐藤 裕子	京 橋	勤 務
H20.12. 1	渋谷 貴正	麹 町	勤 務
H20.12. 1	栖原 圭子	麹 町	勤 務
H20.12. 1	合田 真人	京 橋	勤 務
H20.12. 1	高木 敦史	麹 町	勤 務
H20.12. 1	梶原 源豪	日本橋	勤 務
H20.12. 1	津野 朗	京 橋	勤 務
H20.12. 1	荒尾 正和	日本橋	勤 務
H20.12. 1	野口 智央	神 田	勤 務
H20.12.10	水上 英之	神 田	勤 務
H20.12.22	金原 雄二	神 田	開 業
H20.12.31	下遠 茂	日本橋	勤 務

支部会員の皆様には、当委員会活動にご協力いただきましてありがとうございます。また委員の方々につきましては、委員会運営に真剣に取り組んでいただき真に感謝しています。今回の会報が千代田・中央支部として最後の会報となります。この時期に委員長を仰せつかり、委員会活動に携われたことを光栄に思います。4月から支部が分割になりますが、それぞれの支部での全会員のご活躍をお祈りいたします。
(広報委員長 石上 均)

より多くの方を掲載できるよう、「はじめての行政協力」や「新入会者アンケート」などの新コーナーを企画してきました。最終号は、写真がいっぱいです。みなさまの千代田・中央支部の思い出の1つになれば嬉しいです。
(広報副委員長 青山 弥生)

平成年に社会保険労務士試験に合格して以来、仕事を通して色々な体験をすることができました。

このたび、千代田・中央支部が分割されることになり、とても寂しい気持ちですが、新しい第一歩がうまくいくよう協力したいと思います。
(広報担当副支部長 勝本 京子)

広報委員会に参加させていただきましたが、東京会の仕事もあってお役に立てませんでした。申し訳ありません。新しい「千代田支部」になっても、いずれかの部会・委員会に属し微力なりとも活動させていただくつもりです。
(広報担当副支部長 浅岡 純朗)

社会保険労務士の東京会は、内部組織の調整のため全体の組織変更を行い、その結果、千代田・中央支部は、千代田地区と中央地区がそれぞれ分かれることになりました。そのため本誌の発行は、この会報(113号)をもって最終となります。1月9日に編集会議を行いました。

懐かしい時代の経過は、千代田と中央にそれぞれ受け継がれていくものと思います。
(加藤 孝)

支部会報の歴史を調べたら1979年(昭和54年)の発足後、113号も発行している。前の団体分も入れると136号にもなる歴史と伝統のある支部でした。社会保険労務士として育ててくれた千代田・中央支部に感謝の気持ちでいっぱいです。
(嶋倉 貞男)

この度、東京都社会保険労務士の支部再編成に伴い、千代田・中央支部が、平成21年度より「千代田統括支部」、「中央、文京、台東統一支部」に再編成され、千代田・中央支部会報は、今回の113号が最終号になり、大変残念です。

会報の履歴を繙いてみましたら、昭和54年12月1日付、千代田・中央支部会報」が創刊され、29年間の長きに及んでおりました。その間に3期6年間の短い期間でしたが、伝統ある広報委員を楽しく務めさせていただきました。ありがとうございます。
(戸室 康廣)

広報に携わって早いもので2年が過ぎようとしており、また今号で千代田・中央支部という長い歴史での最後の編集となりました。皆様に読んでいただける、親しまれ



る会報を目指して委員一同がんばってきましたが、いかがだったでしょうか。

まもなく千代田支部と中央支部として、それぞれ新たな広報活動が始まります。ご期待いただくとともに、ご愛読くださいますようお願いいたします。
(大野 剛一郎)

広報委員として3年、支部の活動と発展とともに歩んだ会報の最終号の発刊を迎えて感謝。千代田と中央両区は分離し、独立支部になるが、お互いに培った絆は残る。

今日の経済は「100年に一度の大不況」といわれる。私たち社会保険労務士は、「経営は人なり」の下、『労働法制の遵守・適正な雇用管理』を求め、使命を果たすべく研鑽しよう。

(岡田 健一)

先日ある研修で素晴らしい講師に出会い、その人物に魅了されました。厚かましくもその方を目標とし、かなりのモラルUPです。別れもある支部再編ですが、新支部組織に期待を寄せ、最終号に携われたことを感謝します。

(川澄 佳美)

一般企業に勤めており、ついつい目先の業務に追われがちな私ですが、広報委員会に参加することで諸先輩のご意見に触れ、社会保険労務士として視野を広げる大変良い機会を与えていただきました。ありがとうございます。

(市川 奈央美)

千代田・中央支部として、最後の会報ということになりました。歴史があるこの支部の最後の広報委員として、活動できたことを誇りに思います。石上委員長を始め広報委員の皆様、法研の皆様、そして千代田・中央支部の会員の皆様、ありがとうございます。
(原田 幸治)

委員会活動に参加する機会を与えていただき、とても感謝しております。また、千代田・中央支部会報最終号という歴史的瞬間に立会い微力ながらその一翼を担えたこと、大変光栄です。ありがとうございます。
(三條 麻美)

初の支部活動に広報委員として参加した、貴重な2年間でした。今回の活動経験を、新たな支部での活動においても活かすことができればと思います。石上委員長はじめ委員の皆様、ありがとうございます。
(清家 武彦)